

テーマ よりよい人間関係を築き、自治的能力や社会の一員として活動できる力を
育てる指導の在り方～自治的活動を位置付けた活動の実践を通して～

日立市立成沢小学校

1 はじめに

本校は、教育目標の副題に「生徒指導の機能」を生かした笑顔があふれる学校づくりを掲げ、児童の自己肯定感や自己有用感の育成を目指している。これを踏まえて、子供の自律と社会の一員としての自覚を促す指導を充実させ、児童による自治的活動を位置付けた活動を実践している。

2 実践内容

(1) 朝のあいさつ運動

本校では「おはようの日」ということで、毎日8の付く日はあいさつ運動を行っている。おはようの日は運営委員だけでなく、全校生が1クラスずつ担当している。2か所の昇降口に担当の児童が立ち、全児童を元気なあいさつで迎えている。積極的にあいさつ運動に参加できるよう、児童会便りで事前に知らせたり、校内放送で呼びかけたりしている。

(2) 1年生を迎える会の企画・運営

運営委員会では、新1年生の入学を祝う「1年生を迎える会」を行っている。今年度は、感染症対策のため校内放送で行った。

1年生が安心して学校生活を送れるように、小学校の行事や優しい上級生がいることなどが伝わるように企画することができた。学校紹介をしたり、成沢小学校クイズをしたりして、1年生は楽しく学校のことを学ぶことができた。各学年で分担をして、それぞれ1年生にできることを考え、2年生は自分で育てたあさがおの種をプレゼントするなど、全校で協力して実践する活動を工夫することができた。



(3) みんなで遊ぼう会

毎年、3年生以上の各クラスで考えた遊びを体験する「みんなで遊ぼう会」を実施している。

昨年度は、感染症防止のため行われなかったが、一昨年度は、ミニゲームや劇、アスレチックなど、みんなが楽しめるゲームや遊びを考え、準備した。また、遊びの内容や場所が分かるように、「遊ぼう会パスポート」を製作したり、「待ち時間が少なかったで賞」や「エコで賞」など、約束事や投票によって決めた賞をあげたりなど、運営側でも工夫をしている。



(4) なるさわ大皆遊

本校では、6年生と1年生、5年生と2年生、4年生と3年生で兄弟学級をつくり、二月に1回程度、なるさわタイム（ロング昼休み）の時間に一緒に遊んでいる。遊ぶ内容は、年長学級が中心になって考え、上級生が下級生と一緒に遊んでも楽しく安全にできる遊びを計画している。

2学期の大皆遊では、タイヤ跳びじゃんけんやフラワー鬼ごっこなど、異学年交流だからこそできる工夫を凝らした遊びが行われた。下級生を労り、手助けしながら楽しく活動する上級生の姿や上級生と遊べることに目を輝かせる下級生の姿が見られた。



3 成果と課題

- 全校児童が、あいさつ運動に1回以上参加することで、自分自身の行動について見つめ直すことができた。そして、どのようにあいさつをすれば、お互いに気持ちよく生活することができるかを考えられ、自己指導能力の育成を図ることができた。
- 「1年生を迎える会」や「みんなで遊ぼう会」、「なるさわ大皆遊」での話し合い活動を通して、様々な意見を認め合い、意見が違ったときは、折り合いを付けて意見をまとめることができるようになった。
- 自己肯定感や自己有用感を高めるために、互いのよさや努力を認め合う場面が増えたが、QU アンケート等を見ると、自己肯定感や自己有用感が低い児童がいるので、児童一人一人のよさや可能性などを積極的に認める評価の工夫が必要である。